

開講科目名 Course	消費税法研究 / Consumption Tax Law
時間割コード Course Code	17907
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	水 / Wed 5
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	大脇 光明
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	9 3 講義室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	大脇 光明 (法学研究科修士課程)
授業の目標	
授業の概要	<p>1 . 授業の概要</p> <p>「講義の目的」 受講生に、消費税法の学習を通して、税法等の論理的解釈の理解を深め、認定事実に税法等を当てはめることについて、思考力等を伸ばしてもらうことを目的とする。</p> <p>「講義の内容」 課題を設定し、判決・裁決の争点を参照しつつ、消費税法の条文の趣旨・解釈について理解を深めるとともに、条文適用のあり方を考える。</p> <p>「授業の内容」</p> <ol style="list-style-type: none"> 消費税の基本的仕組み～課税の仕組み 〃 納税事務の負担軽減 課税の対象～4要件の前半 〃 4要件の後半 非課税取引 輸出免税 納税義務者 納税義務の成立 課税標準 仕入税額控除～一般課税による計算方法 〃 帳簿の意義 〃 帳簿の保存 〃 簡易課税による計算方法 〃 みなし仕入率 特定役務の提供に係る課税 <p>2 . 評価方法 出席及び授業への参加姿勢・貢献度等を総合的に勘案して評価する。</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準	
授業計画	

テキスト	
参考書	「詳解消費税法」財経詳報社 「消費税法の考え方・読み方」税務経理協会
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	